

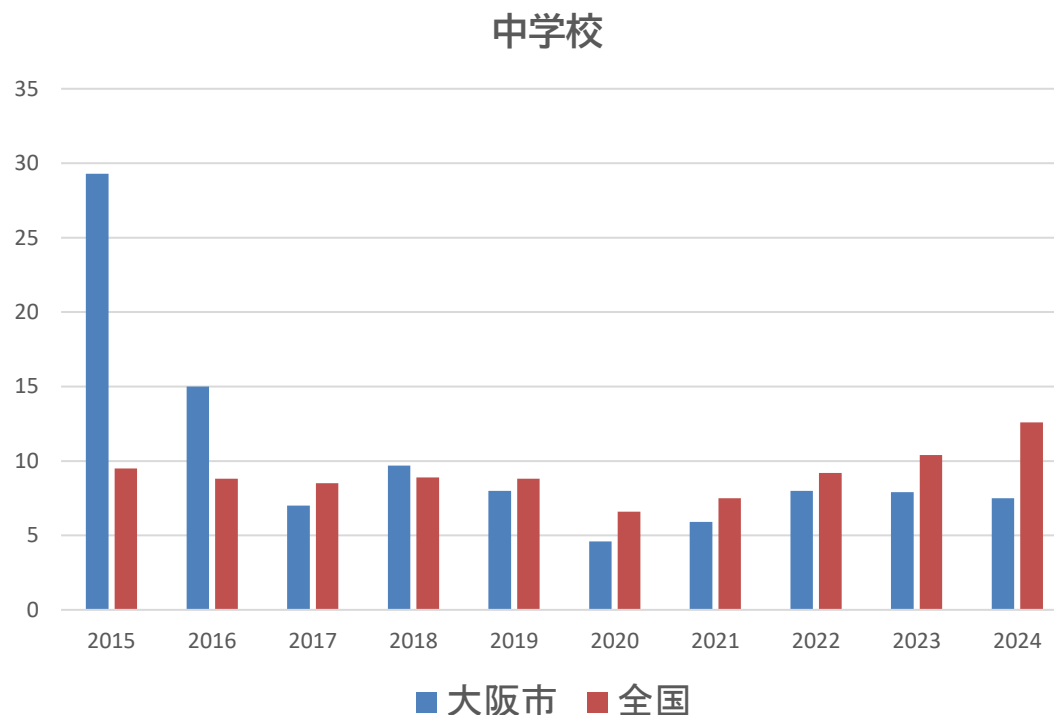
## 「大阪市教育振興基本計画における安心・安全と学力」

- 最重要目標1 安全・安心な教育の推進
- 最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上
- 最重要目標3 学びを支える教育環境の充実

大阪市の学力向上施策と、ICT、働き方改革、外国につながる子供

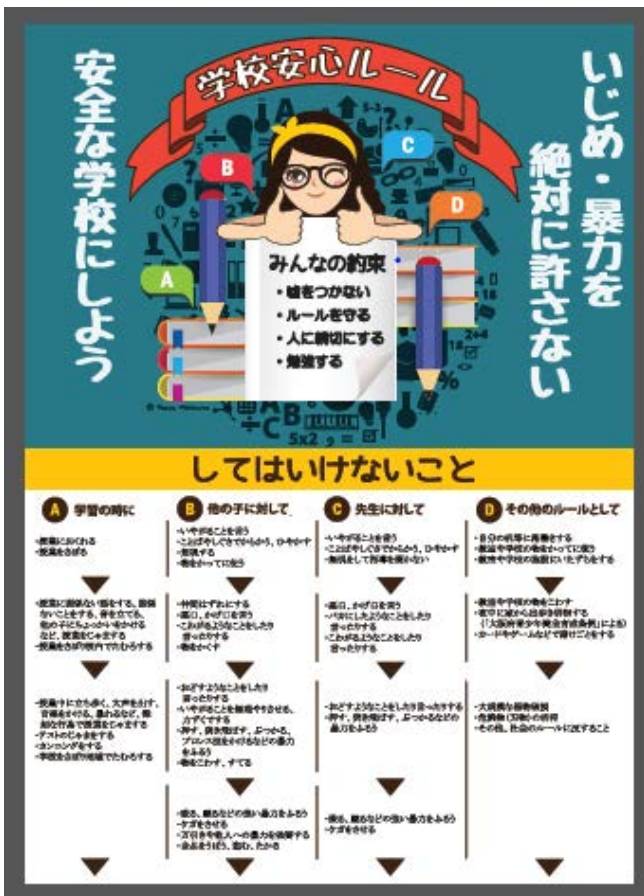
大阪市教育委員会事務局顧問  
日本学士院会員・神戸大学特別栄誉教授・京都大学名誉教授  
西村和雄

## 暴力行為(1000人当り) 2024年は全国平均が2割増加



学校安心ルールの導入以降、劇的に減少しその後は全国平均を下回る

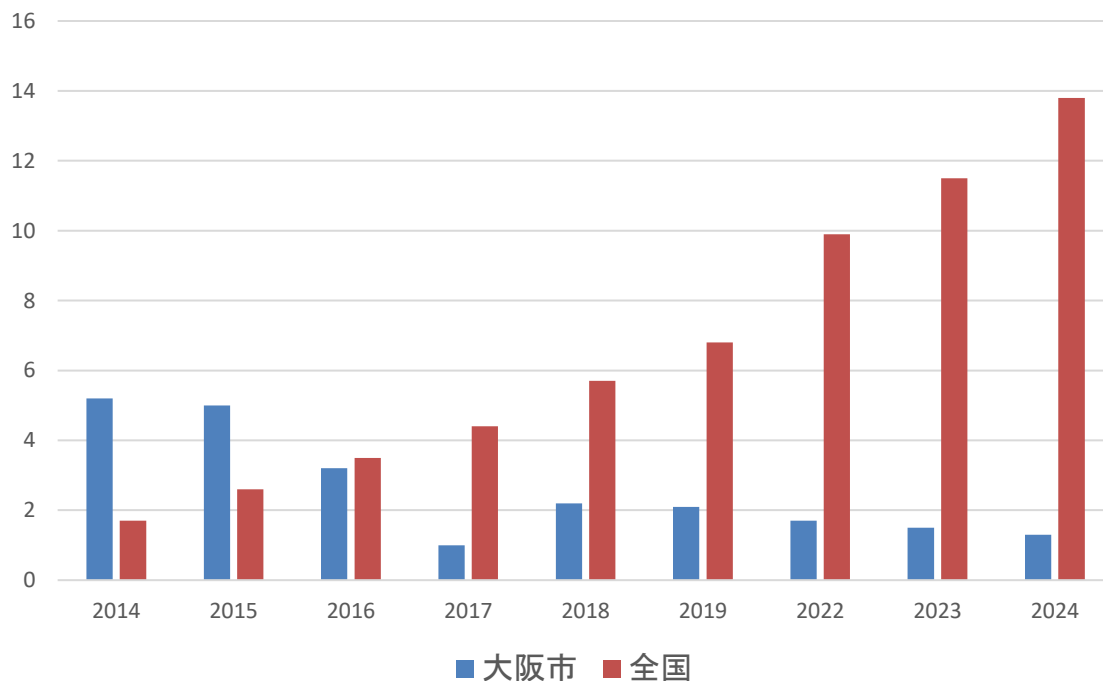
## 学校安心ルール



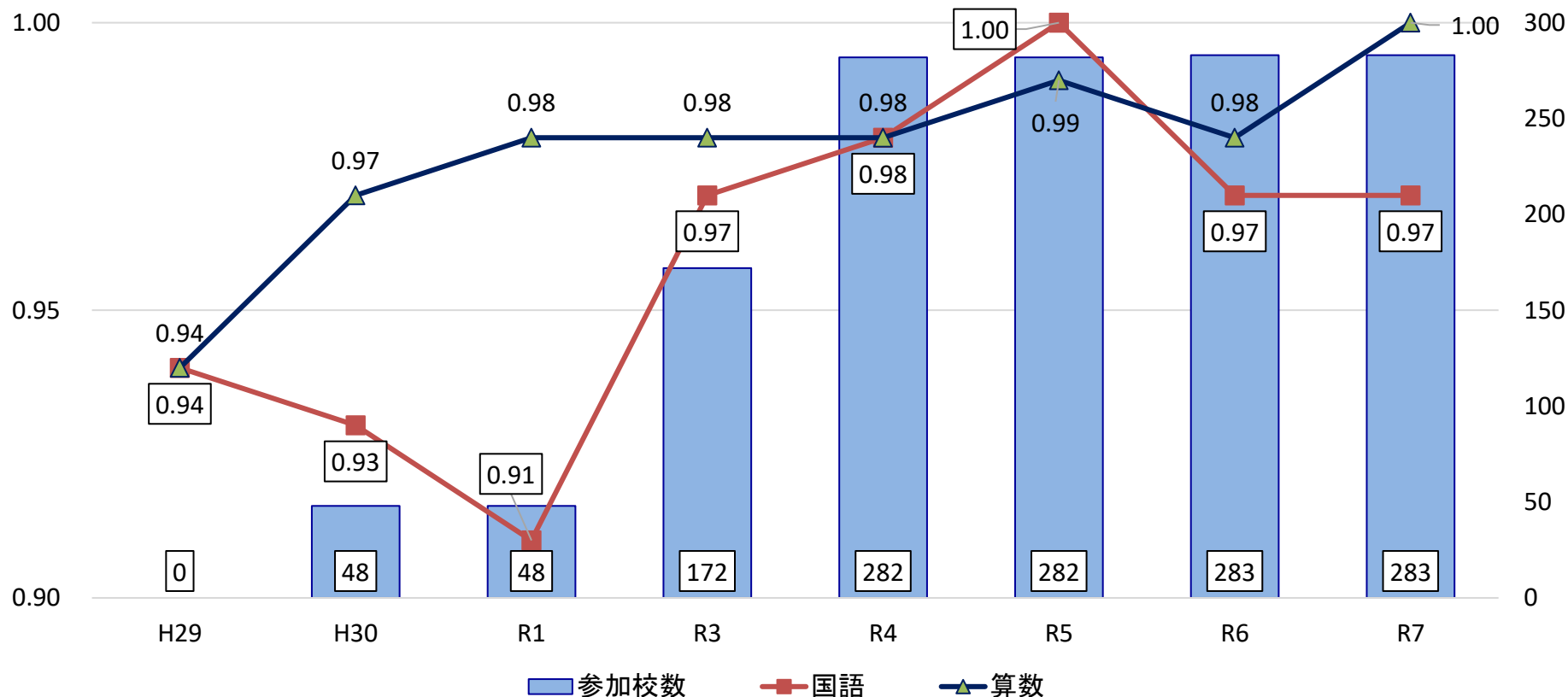
## 小学校暴力行為(1000人当り)

2024年は、全国平均が13.8、大阪市は1.3で10分の1以下

### 小学校



## 大阪市の学力推進事業参加校数推移と全国学テの結果(小学校)

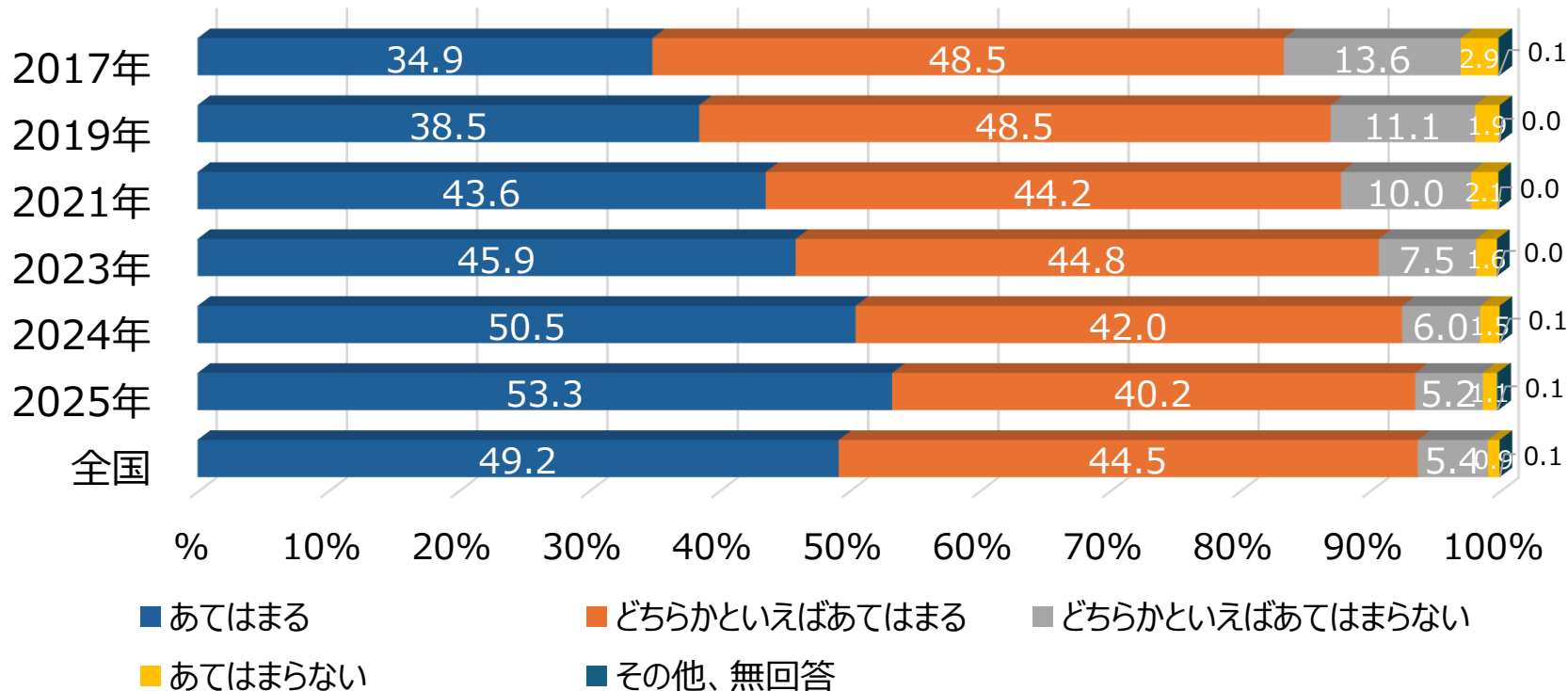


※全国(公立)の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。

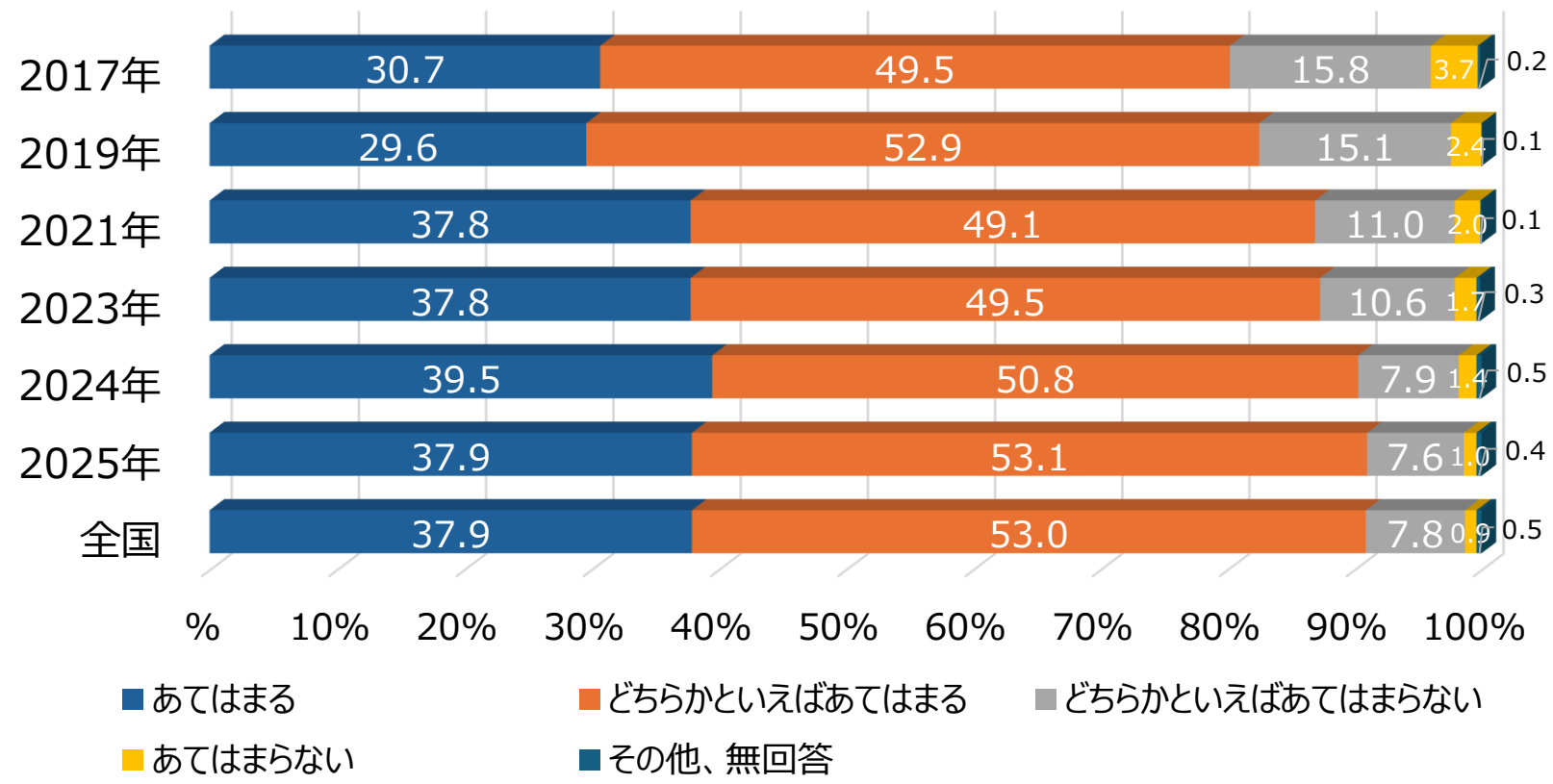
※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、問題数を考慮した加重平均で「対全国比」を算出しています。

安全・安心、学力ともに改善。市の施策、関係事務局・学校現場の努力を反映。

## 人が困っているときは、進んで助けていますか（小学6年生）



人が困っているときは、進んで助けていますか（中学3年生）



いじめとされる行為は、いじめだからやってはいけないのではなく、本来やってはいけない。

やってはいけないことをやめさせなければ、いじめに発展する可能性がある

やってはいけないことを止めさせることはすぐにできる。

「学校安心ルール」に照らして、やってはいけない行為に対応することで、いじめを防止する。

## 「アメリカにおける就学前教育の実験」

### 米国で1960 年初頭に行われたPerry Preschool Project

経済的に恵まれない3歳－4歳の子ども達を2つのグループに分けて、1つのグループのみに就学前教育を約2年間行い、その後の追跡調査をしている。

就学前教育を受けた群は、

- ・ 高卒資格の割合が20%高い。
- ・ 月収2000ドルを超える者の割合は4倍
- ・ 家を購入した者も3倍多い

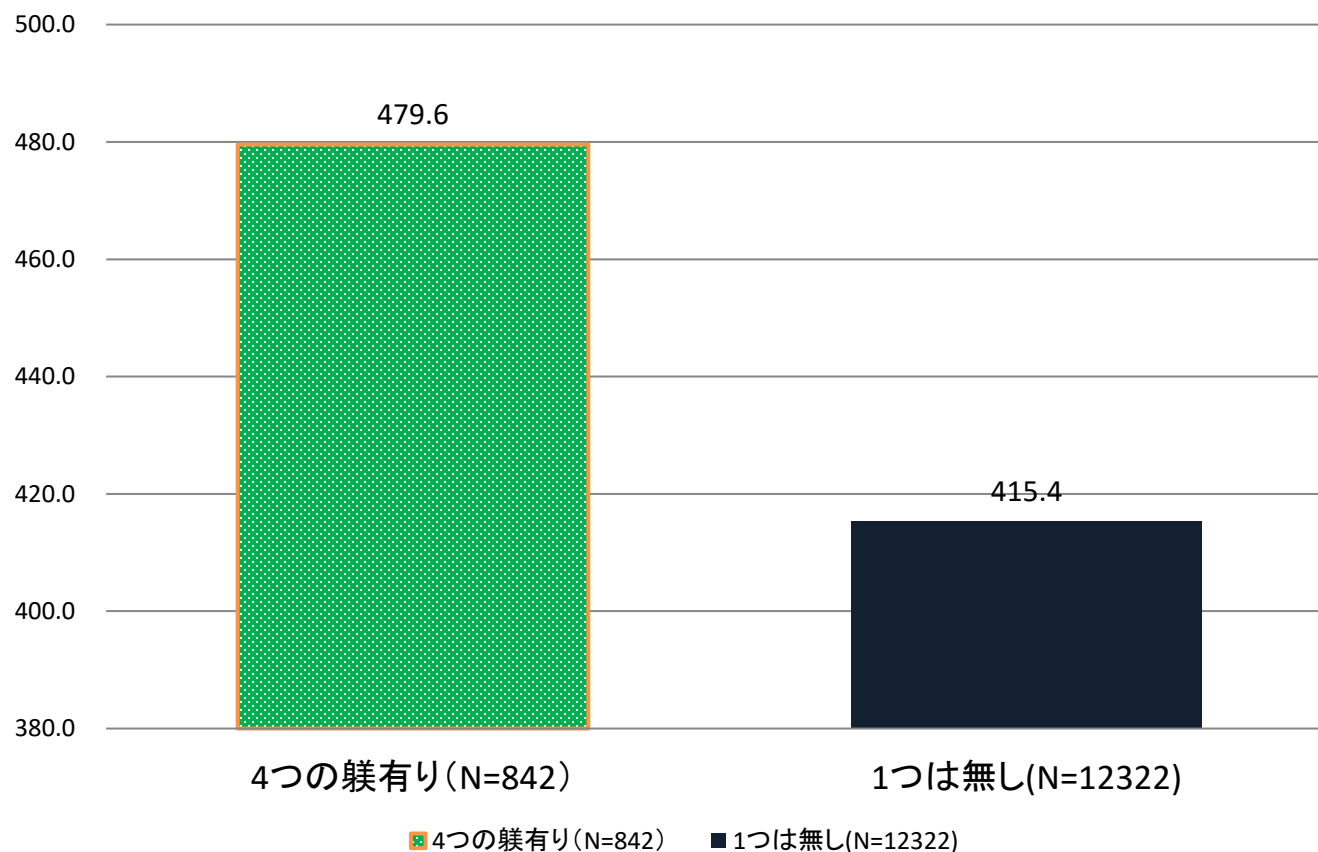
2000年度ノーベル経済学賞者ジェームス・ヘックマンは、Perry計画による就学前教育の効果を評価。

- ・ IQを高める効果は続かない
- ・ 意欲、努力、我慢、規則正しさ、一貫性などの非認知能力が高められることによって、その後の一生にわたって、学習や仕事の成果が高く保たれた

非認知的な能力はIQに比べて、はるかに順応性が高い



基本的モラル(うそをつかない、他人に親切にする、ルールを守る、勉強をする)をすべて言われて記憶している者と、1つでも欠けている者の平均所得比較



江戸時代に、商人・町人が 主役を務め、大阪で大きく発展した実践哲学として、石門心学がある。

正直・感謝・思いやりを日常で育てる  
小さな成功体験を積み重ね、自信と自立を育てる  
分け隔てなく人を尊重する態度

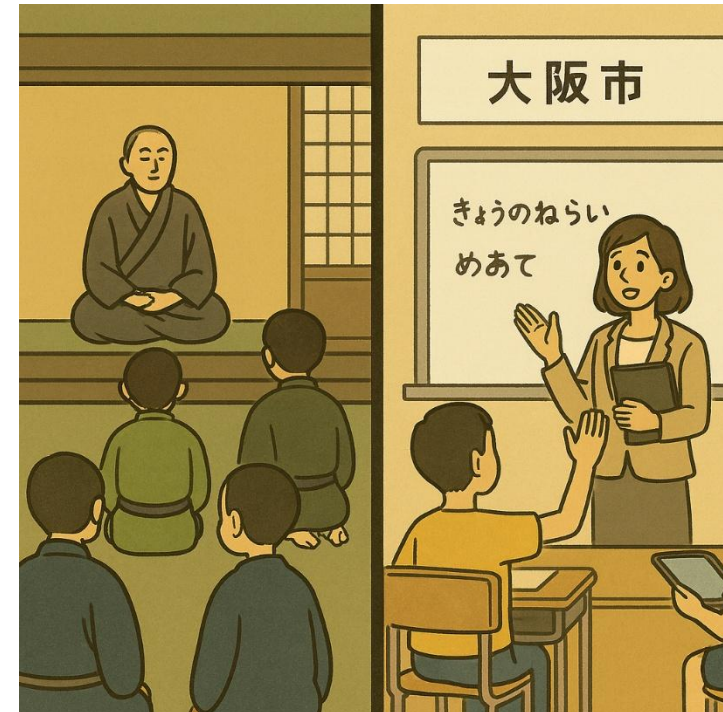
誠・正直の重視・・・規範意識の向上

親が模範となる・・・教員が授業改善する

日常の小さな行いが人格をつくる・・・小さな当たり前を学校全体で行う

欲求を否定せずに節度を教える・・・自ら学び、行動を自己選択させる

徳が身につくことで庶民・町人にも効果・・・授業改善で低SES層も伸びる



## 市民の声の具体例(大阪市「市民の声の見える化」より)

保護者の声： 学校安心ルールが導入されてから、子どもが学校で安心して過ごせるようになったと感じます。先生方の対応も丁寧になり、保護者としても安心です。

保護者の声： 市が学校のルールを明文化し、保護者にも周知してくれることで、家庭でも子どもにルールの大切さを伝えやすくなった。

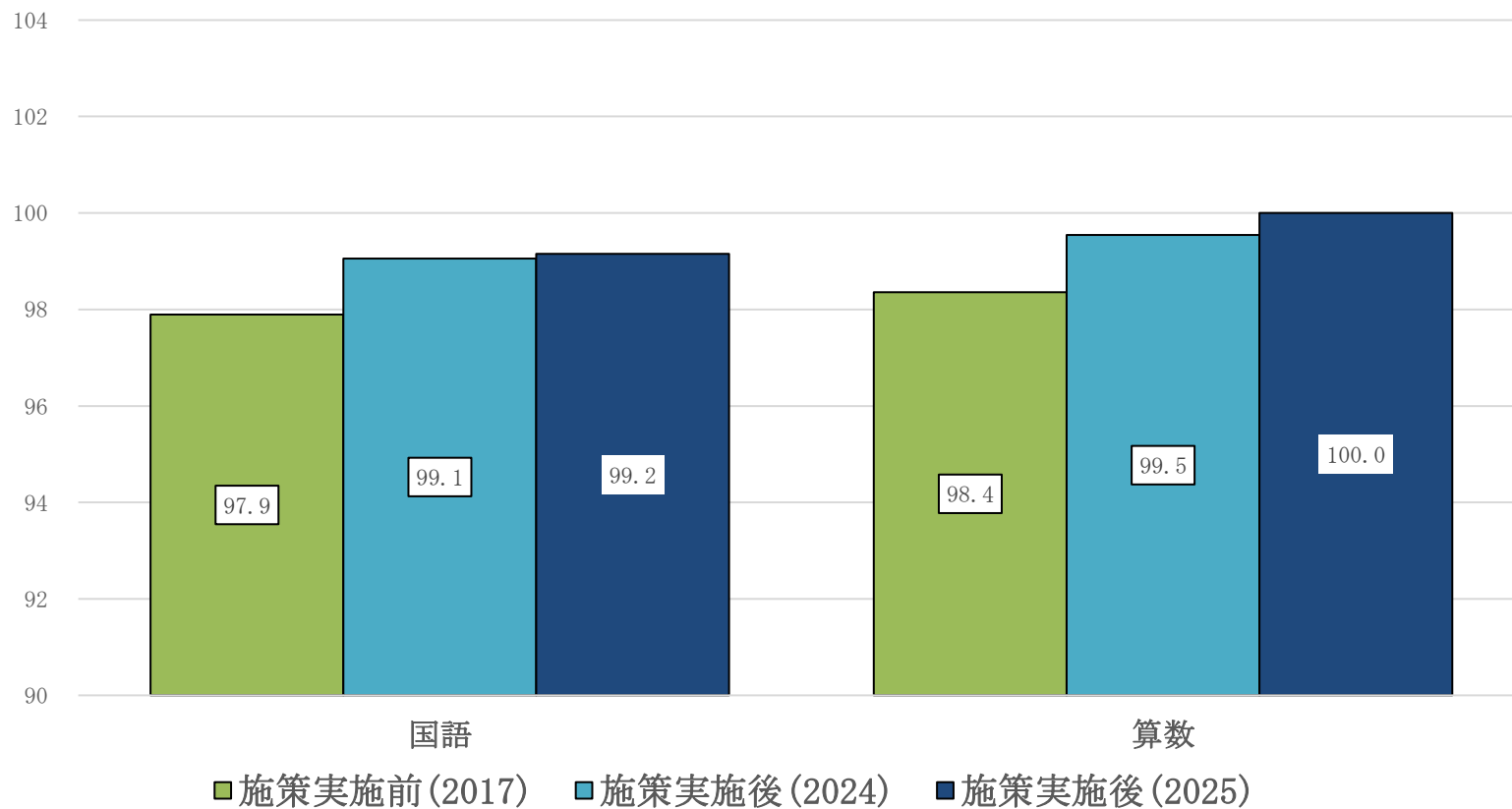
地域住民の声： 以前は問題行動が目立っていたが、ルールが明確になってからは子どもたちの行動が落ち着いてきた。学校の雰囲気も良くなったと思う。

教育関係者の声： 個別指導教室の設置により、問題を抱える子どもへの支援が手厚くなった。教育現場の対応力が上がっている。

## 学校のHPから

学習中はどの学級も落ち着いた雰囲気の中、集中して学習に取り組み、着実に学力をつけてきています。

## 学力向上事業が行われる前の2017年と、2024年、2025年の成績比較



全国平均を100とする

「国民生活基礎調査」（2022年）によれば、**子どもの9人に1人が貧困状況にある。**

文部科学省は2013年度、2017年度、2022年度に  
家庭の**社会経済的背景（Socio-Economic Status：SES）**  
の調査をしている

大阪市でも、「大阪市 子どもの生活に関する実態調査」（2016年、2023年）において保護者調査が行われている。

そこで大阪市における家庭のSESが子供の学力に与える影響を分析した。

## 神戸大学経済経営研究所DP2025-J06

Discussion Paper Series

**RIEB**

Kobe University

DP2025-J06

授業改善による格差是正の持続的効果：  
大阪市における SES と学力・学習意識の実証分析

西村 和雄  
八木 匡  
古閑 龍太郎  
岩澤 政宗  
谷口 璃華

2025 年 11 月 10 日改訂



神戸大学 経済経営研究所

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

授業改善による格差是正の持続的効果：

大阪市における SES と学力・学習意識の実証分析

西村和雄（神戸大学）<sup>1</sup>

八木匡（同志社大学）

古閑龍太郎（大阪市総合教育センター）

岩澤政宗（同志社大学）

谷口璃華（大阪市総合教育センター）

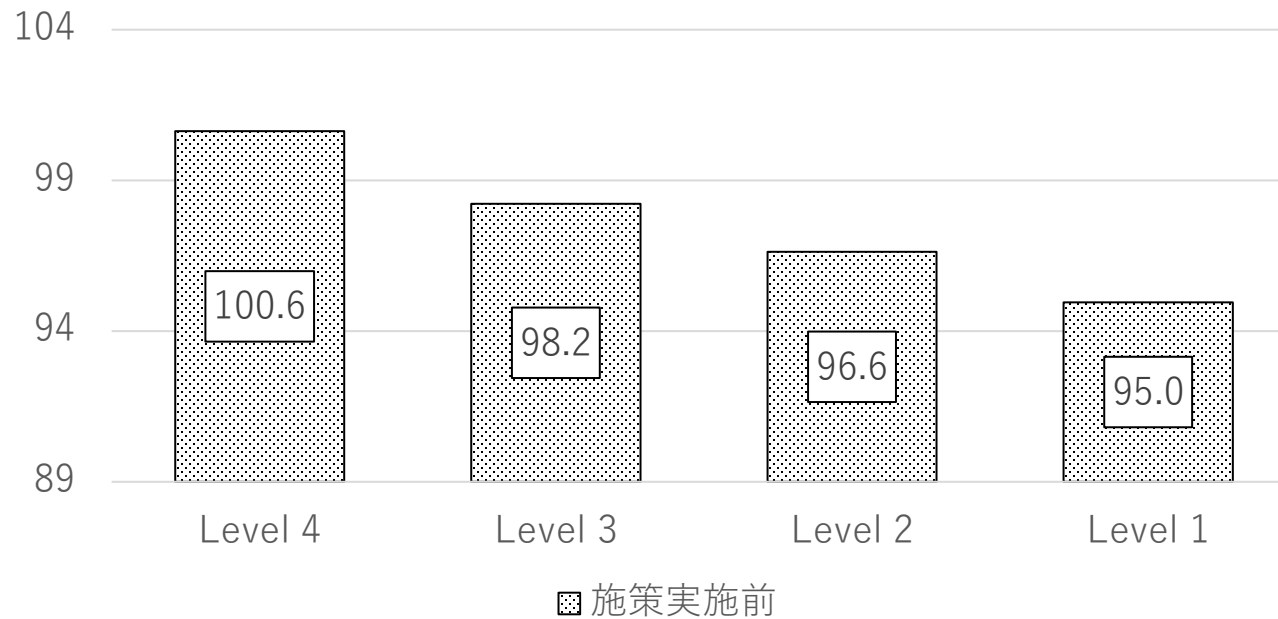
要 旨

多くの国と同様、日本でも、子どもの貧困が深刻な社会問題となっており、貧困が学力格差を生み、将来の所得格差につながる事が指摘されている。本研究は、大阪市が2017年度以降に実施してきた授業改善を中心とする学力向上施策の効果を検証するものである。大阪市の学力向上施策は、定期的に学校訪問を行い直接授業の見直しや教員研修を通じて教員の指導力を高め、児童生徒の学力向上を達成する点に特徴がある。分析では、大阪市の「子どもの生活に関する実態調査」（2016年、2023年）と全国学力・学習状況調査（2017年、2025年）のデータを用いて、家庭の社会経済的背景（SES）別に、学力向上施策と学力の関係性を明らかにしている。家庭のSESを学校ごとに集約し、学校SESを4つのレベルに分けて分析したところ、大阪市においてもSESが低いと学力が低い傾向にあることが確認された。しかし、最も不利なレベル1の学校はすべての教科で有意に学力向上が見られた。加えて、小学校国語、中学校国語、数学では、レベル1が最も高い成績増加率を示していた。さらに、最もSESが低い小学校20校・中学校10校を個別に抽出した分析でも、学力向上が確認された。同時に、「授業の内容がよく分かる」という児童生徒の学習意識も改善し、政策効果が認知的成果と非認知的成果の両面に及んでいることが明らかになった。授業改善型アプローチは費用対効果が高く、他の自治体にも応用できる持続可能な政策モデルとして評価される。これらの知見は、教育格差是正政策の新たな可能性を示すものであり、全国的な証拠に基づく政策立案（EBPM）の推進にとって重要な示唆を与えるものである。

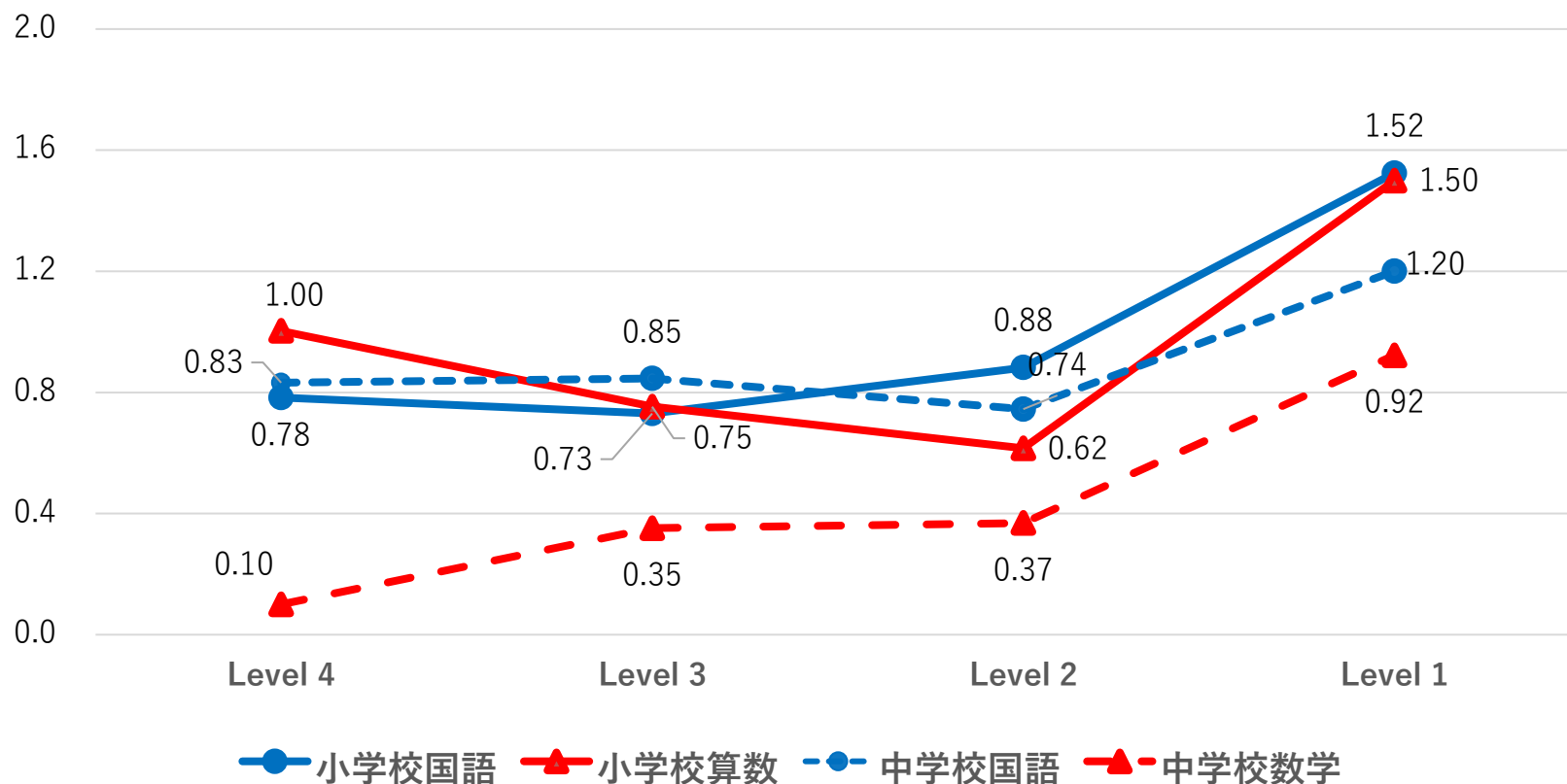
JEL Classification Number : I24, I28

キーワード：SES、大阪市、学力向上、全国学力・学習状況調査、教育格差、授業改善

## 学校SES別小学校国語成績(標準化得点)2017



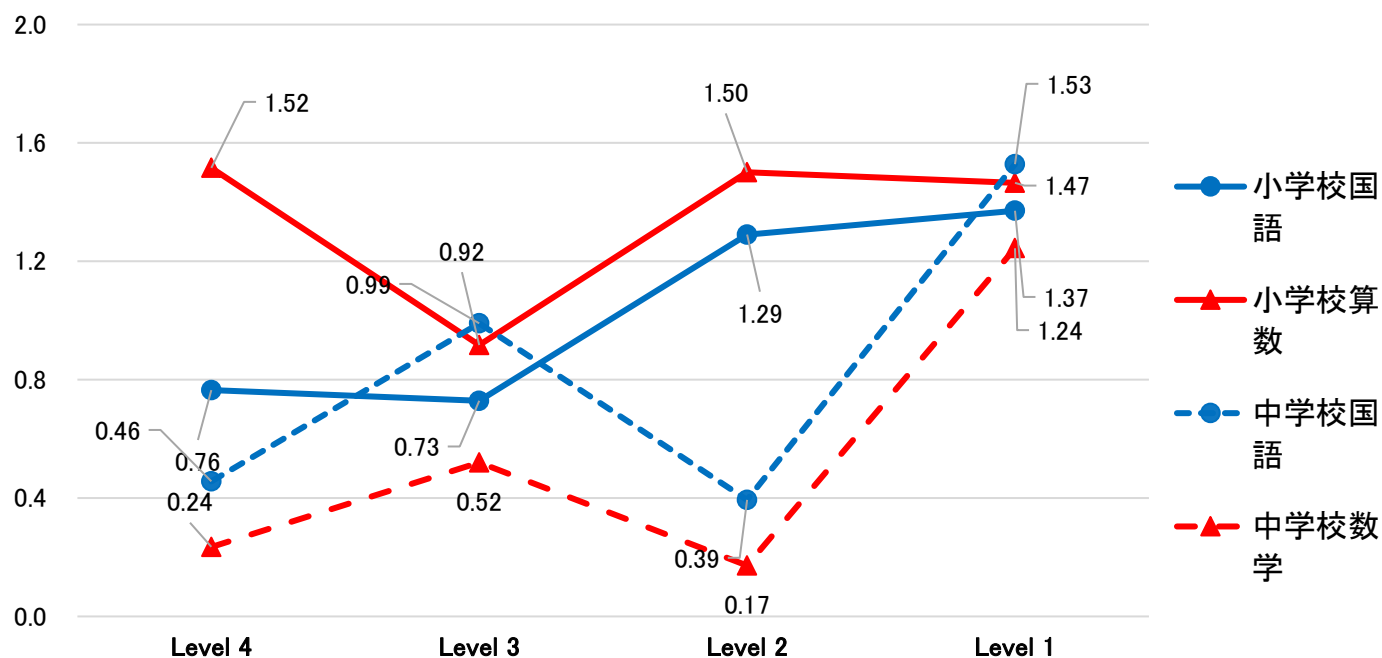
## レベル1の成績増加率が最も高い



全国学力テスト成績変化率(2017-2024):大阪市小6、中3



## レベル1の成績増加率は依然として高い

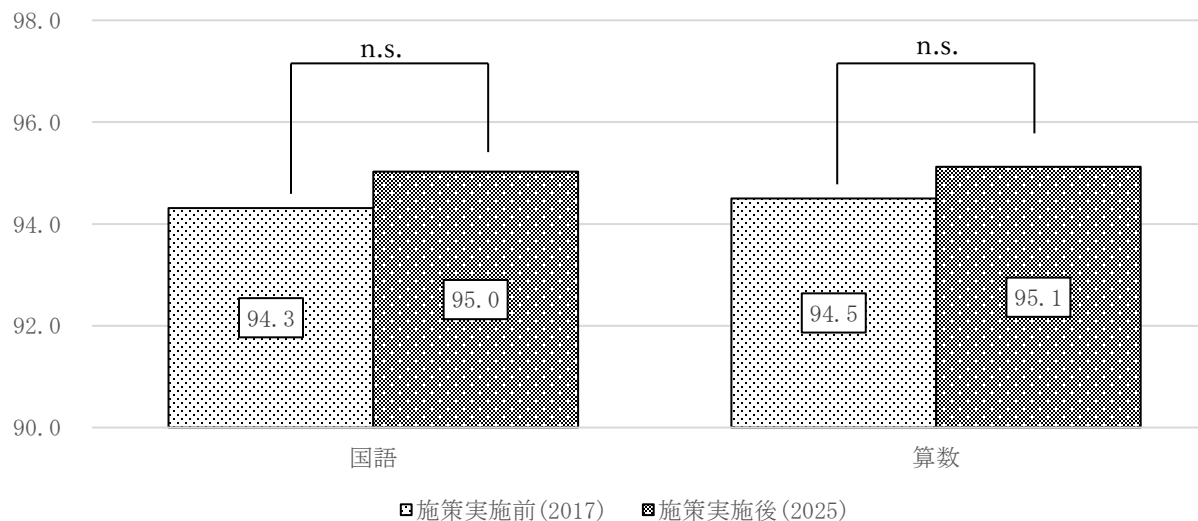


全国学力テスト成績変化率(2017-2025):大阪市小6、中3

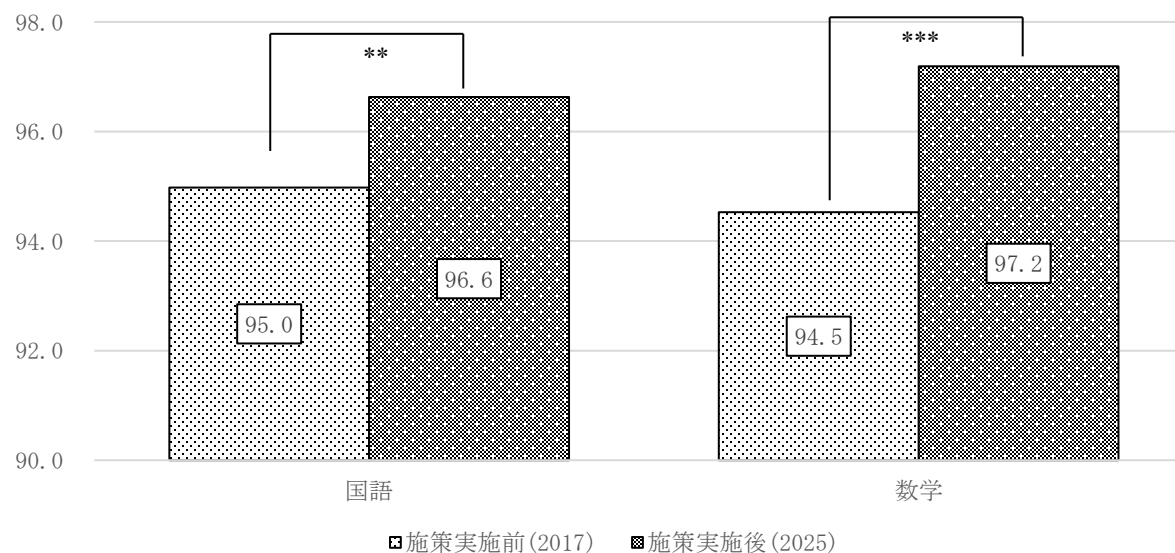
# SESが最も低い小学校20校・中学校10校の学力変化

18

## 小学校



## 中学校



# 「課題の見られる児童生徒(全国学テにおける区分Ⅳ)の割合」の比較

19

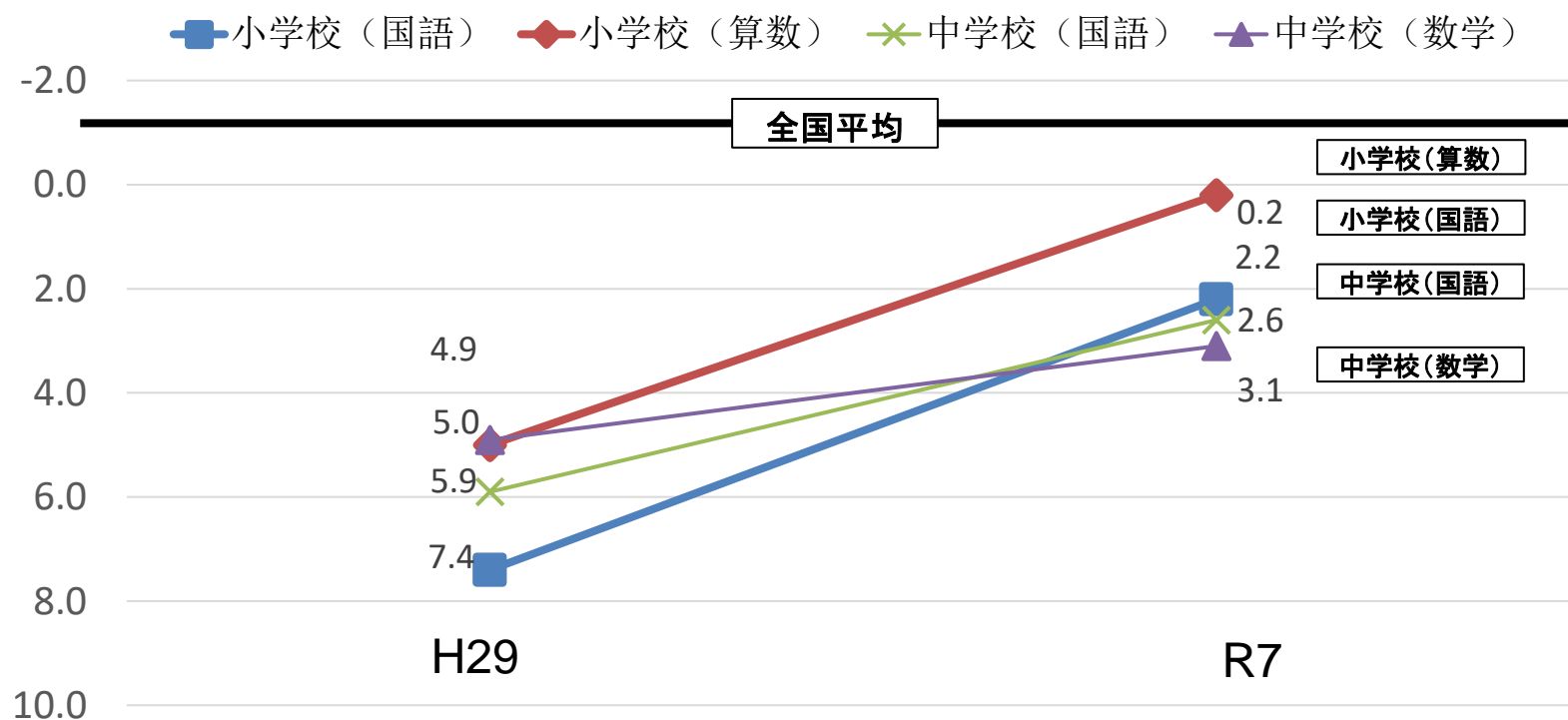
小学校						中学校					
国語	H29	R7	算数	H29	R7	国語	H29	R7	数学	H29	R7
全国	22.7	17.8	全国	19.5	20.1	全国	22.5	22.5	全国	24.5	23.8
大阪市	30.1	20.0	大阪市	24.5	20.3	大阪市	28.4	25.1	大阪市	29.4	26.9
差	<u>7.4</u>	<u>2.2</u>	差	<u>5.0</u>	<u>0.2</u>	差	<u>5.9</u>	<u>2.6</u>	差	<u>4.9</u>	<u>3.1</u>

※数値は区分Ⅳの児童生徒の割合を示しております。

※平成30年度調査までは、A・B、2種類が出題されていたため、A・Bそれぞれの区分Ⅳの割合について問題数を考慮した加重平均で「H29の区分Ⅳの割合」を算出しています。

## 【学力に課題の見られる児童生徒(区分Ⅳ)の割合における全国との差の経年比較】

※大阪市と全国との差の値は、小さいほど良好な結果を表しています。



「教員の授業力向上」＋「ICTの活用」は  
教員に余裕を生み  
時間的余裕もできる・・・働き方改革

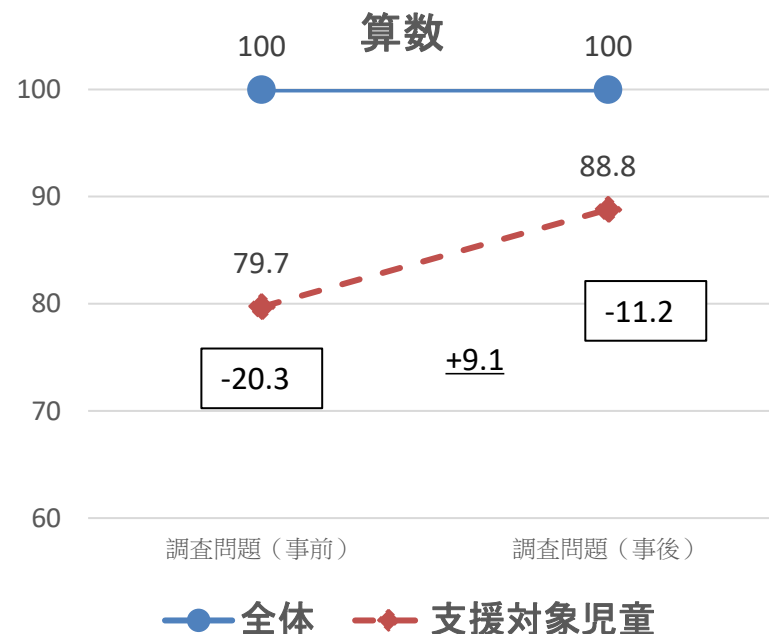
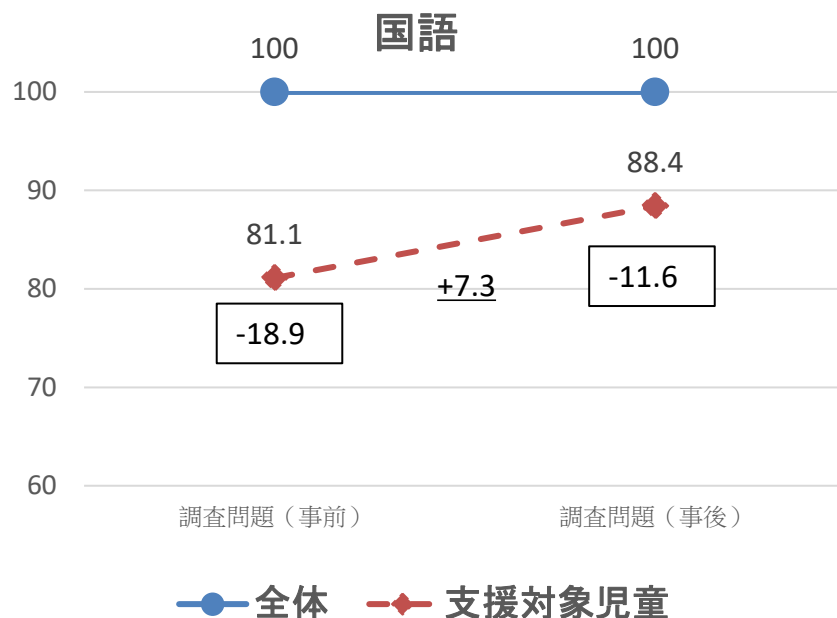
その余裕を  
「学習に課題がみられる児童の指導」・・・個別指導  
にあてている。それは  
「外国につながる児童の指導」  
にも生かせる。

学習に課題がない児童には、ICTを活用して、  
「主体的な学習、進んだ学習、探究学習」  
を促す

教員の指導力の向上で生まれる余裕を課題のある児童への個別指導にあてる

【要支援児童】19人 【全体人数】国語235人：算数232人

※数値は標準化得点





## 理科は面白い ～月・太陽～

### 1 銀河とは？ .....3

宇宙には、「銀河」と呼ばれる種類の天体がたくさんあります。「銀河」とは一体、どのようなものなのでしょう？

### 2 日食って何？ .....7

昼間なのに太陽が見えなくなり、あたりが暗くなってしまう「日食」は、どうして起こるのでしょうか？

### 3 太陽は、どのようなしくみで光っているの？ .....11

太陽は、どのようなしくみで光っているのでしょうか？そして、どのようにして熱を出しているのでしょうか？

### 4 太陽の黒点って何？ .....15

太陽を観察すると、黒い模様のように見える「黒点」を見つけることができます。「黒点」とは、一体、何のことなのでしょう？

### 5 月にはウサギが住んでいるの？ .....19

月の表面の模様が、ウサギが餅つきをしているように見えることから、「月にはウサギがいる」と言われることがあります。月の表面のウサギのように見える部分の正体は、何なのでしょう？

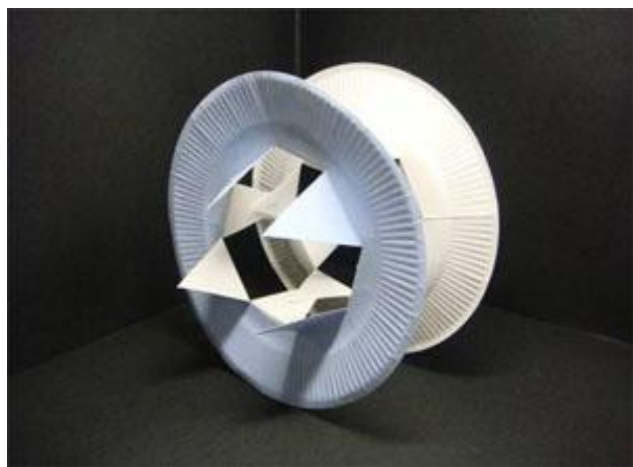
### 6 月食って何？ .....22

月が地球の影によって暗くなったり、欠けたように見えたりする現象である「月食」は、どのようにして起こるのでしょうか？

### 7 どうして月が大きく見える時があるの？ .....26

空を眺めた時、月の大きさが、いつもより大きく見えて驚いたことはありませんか。なぜ、このように、月が大きく見える時があるのでしょうか？

2年生活科で「風の力」を扱う 東田辺小学校  
本単元では、「かざわ」作りに取り組んだ。



「私たちは風を受けやすいように工夫しました」  
「ぼくたちは風を受けて遠くへ進むように、車輪が回りやすいようにしました」

宙や天体への興味関心を高めることをねらいとして、「月や星の動き」の学習後に大型モニターを使用し提示する。

流れ星の大きさは、  
どれくらいでしょう？

- ① 1mmくらい
- ② 1cmくらい
- ③ 1mくらい



「流れ星ってなんだろう？」

「天の川とは？」

「ブラックホールって何？」

「流れ星って、そんなに小さいの。」

「自分のいる地球が、そんな速いスピードで動いているなんて知らなかった。」

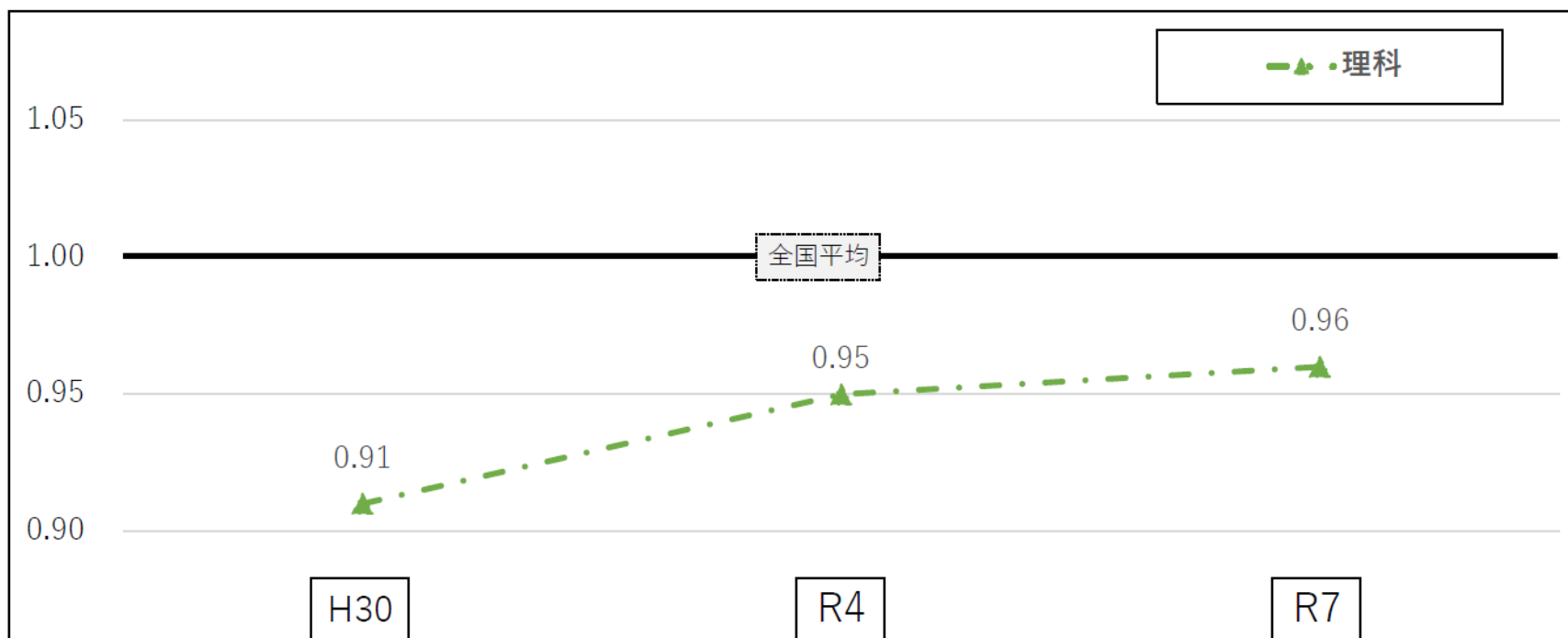
「天の川って、1年中見えるんだ。」



# 小学校・教科(理科)の平均正答率・対全国比

25

	H30				R4				R7			
	大阪市	大阪府	全国	対全国比	大阪市	大阪府	全国	対全国比	大阪市	大阪府	全国	対全国比
理科	55	57	60.3	<u>0.91</u>	60	60	63.3	<u>0.95</u>	55	55	57.1	<u>0.96</u>



ご清聴ありがとうございました。

大阪市教育委員会事務局顧問  
日本学士院会員・神戸大学特別栄誉教授・京都大学名誉教授  
西村和雄